

印西市国際交流協会だより



I I F A

ひろば

2023年
令和5年
第25号
4月

ごあいさつ

この3月、侍ジャパンのWBC制覇に日本中が熱狂しました。日本球界を代表する侍たちの献身的なプレーは多くの人の心に響きましたが、彼等の相手チームに対する敬意や紳士的な振る舞いもまた即座に世界に報じられ賞賛を浴びました。多くの賛辞の中でも、私は、侍ジャパンに対し善戦したチェコ代表チームの監督の発言に心を引かれました。記事によると、それは次のようなものでした。

「野球は戦争でなく、紳士のスポーツだと実感した。ロウキさんの温かいお心遣いは、我々にエネルギーを与えてくれた。日本全体にありがとうと言いたい」

「オオタニが素晴らしい笑顔とともに活躍していることを、世界に伝えたい。ウクライナとロシアの戦争が続いているが、こんなに素晴らしい世界もあることを伝えたい」

残念ながら、コロナとの戦いに疲弊した世界は、昨年2月に突発したウクライナでの悲惨な戦争によって混迷の度を一層深めています。

昨年、会長就任あいさつの中で、私は、「民間レベルの交流による一地域の多文化共生化とその達成に向けた不断の努力は、一見迂遠な道に見えたとしても、これら困難な問題の解決のための第一歩になるものと信じています」と申し上げました。同監督のコメントは、まさにこの思いを裏付け、私たちの活動を力づけてくれるものと私には思えたのです。

本年も私たちは印西市が外国出身の皆さんの笑顔のあられる街となるよう、地道な交流活動を着実に進めていくことを決意しています。皆さまの一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

(会長 坂東 昭二)

印西市の外国人市民と日本語学習

皆さんは印西市には今何人の外国人がいるかご存知でしょうか。

2023年2月末現在2,792名の外国人がいます。その国籍も様々で、72か国2地域に及びます。

日本人と結婚しその配偶者として、仕事で、留学生として等々その在住の理由は様々ですが、意外と多くの外国人が住んでいます。

印西市は「住みよい街ナンバーワン」として脚光を浴びましたが、外国人にとってはどうでしょうか。

印西市が定期的に行っている「印西市外国人市民意識調査（令和元年度版）」によると、普段の生活には困らないという方はもちろんいますが、生活習慣がわからない、病院や医療の事がわからない、子どもが学校で日本語がわからないで苦労している、近頃地震が多いが災害のときどうしてよかわからない、日本人のお友達が欲しいといったこと。そして自分の国のことをもっとみんなに知ってほしい、といったことまで様々な苦労や思いがあるようです。



印西市国際交流協会ではそうした外国人市民のために地域日本語教室「りぼん」を運営しています。現在は市内5地域に6教室があり、17か国2地域約100名の学習者と24名の支援スタッフが活動しています（2023年3月末現在）。

日本語教室に来る学習者の理由はもちろん日本語を学ぶということもありますが、お友達を作りたい、日本の事や印西市の事をもっと知りたいといったように学びの場とともに、居場所づくりもあるようです。

学習者は主婦、ビジネスマン、技能実習生、小学生など、そして夫婦や親子での参加と様々で、日本語のレベルも「あいうえお」の読み書きから日常会話迄と幅広く、その人のレベルと目的に応じ「日本語による日本語の勉強」を行っています。

また5月からは小学校に通う子どものための日本語勉強会「キッズIIFA（イーファ）」も始まります。



ボランティアにあたる支援スタッフは、必ずしも日本語の専門知識を持っている方だけとは限りません。

多様な背景とニーズを持つ学習者と支援スタッフは同じ地域に暮らす市民。日本語を教えるということだけでなく、お互いに学びあうという視点に立ち、日本語教室は日本語を通して相互理解と多文化共生実現のための小さな役割を担っています。

「今日〇〇を教えた」ではなく、「今日〇〇が出来るようになった！」という学習者の笑顔が私たち支援スタッフの大きな喜びです。



(理事 治田 三夏男)

協会の主な活動

2022

4月

りぼん学習者に食糧支援を行いました



5月

5月21日
第22回総会



6月

イングリッシュアカデミー
ホップ&ステップへボランティア

7月

夏休み外国人の子どものための
学習教室 開催



8月

バスで行く梨狩りと
国際交流の集い



9月



10月

東京基督教大学留学生の着物
体験イベントに協力しました



11月

印西市民アカデミーの異文化
理解講座で吉原顧問が講演



12月

フレンドシップ・カフェ
中国出身女性によるスペシャル
プレゼンテーション

2023

1月

ワールドフェスト
2023



2月



3月

協会内 ひな人形飾り
「町屋ひな祭り」協力
(於 武蔵屋)



イベントと交流

夏休み外国人の子どものための学習教室



8月23日から25日までの3日間の日程で、外国人の子どものための学習教室を開催しました。学習ボランティア7名と5名の児童が参加し、それぞれの夏休みの宿題を持ち寄り、熱心に取り組みました。また、「大森子ども広場」の子どもたちと交流し、生き生きと活動する姿が見られました。

バスで行く梨狩りと国際交流の集い

8月27日（土）、市のバスで白井市の山口梨園での梨狩りに行きました。当日は大変暑い日でしたが、梨園の木陰に座り、グループ毎に自己紹介しあって交流したり、梨のできるまでの話を聞いたりした後、手で梨を持ち上げて取る梨狩り体験をしました。お弁当も、木陰で楽しく語らいながら食べました。午後からは、DVDを見ながら三匹獅子舞について学びました。



印西ワールドフェスト2023



1月28日、外国人の皆さんを含む約100名が参加し、開催されました。印西ゆめ太鼓の演舞に始まり、モンゴルの馬頭琴の演奏、アフリカンダンス、印旛明誠高校音楽部によるコーラスを楽しみました。餅つきには多くの方が参加し、最後は印西音頭をみんなで輪になって踊り、楽しい国際交流のひとつを過ごしました。

フレンドシップ・カフェ

外国出身市民との交流や会員同士の親睦の場として、毎月第4木曜日の午前10時より正午まで、千葉NT中央駅前地域交流館2号館の市民活動支援センターで開催しています。

皆さまの要望にお応えして外国人講師による異文化理解のためのプレゼンテーションを企画することもあります。

予約不要、入場無料ですのでお気軽にお立ち寄りください。



木下駅南骨董市

当協会をもっと多くの市民に知っていただくこと、及び骨董市を訪れる外国人との交流・親善を図ることを目的に毎月第1土曜日に開催される木下駅南骨董市に出店しています。

ご自宅で不要となった品物やお宝をお持ちの方は自由に販売することもできますので、多数のご来店をお待ちしています。協会の幟が目印です。



語学講座

IIFA

今回は、各講座の先生より日本と自国の文化の違いを母国語で紹介していただきました。



Hi! I am Marie-France, but everybody calls me Marie! I was born and raised in Ottawa, Canada, but I have lived in Japan for 22 years. I moved to Inzai 12 years ago, and started teaching for the Inzai International Friendship Association a year later.

The biggest culture shock I experienced when I landed in Japan was the number of work hours, especially for office workers. Working 9 to 5 did not seem commonplace here: it was more like 9 to midnight (or later). Fortunately, things have changed since then. Another cultural difference that surprised me once my kids started school was how schools teach a sense of responsibility to their students. In Japan, students clean the school, and consequently, they learn to value cleanliness. In Canada, janitors keep the schools clean, so students often leave trash behind. Finally, I love that Japanese people take the time to appreciate the ever-changing nature and have an amazing variety of festivals, dishes, and drinks that celebrate the seasons. I especially like sakura-flavoured sweets in spring and oden in autumn.



金 南淑

日本在住 29年

趣味 그림 그리기

한국은 일본하고 달리 아주 자기감정에 충실하고 솔직하다. 그리고 감정을 자연스럽게 말이나 행동으로 표현하는 나라이다.

이성간의 아니라도 가족이나 친구같은 가까운 사람에게 '사랑한다' 는 말이나 '스킨십'을 하는 모습을 자주 볼수있다. 가족이 아니더라도 여자친구간에 팔짱을 낀다든지 손을 잡기도하고 그리고 가족뿐만 아니라 가까운 사람과 포옹하는 일도 아주 흔한 일이다.

어쨌든 한국사람은 자기감정을 숨기지않고 아주 솔직하고 자연스럽게 표현하는 국민이라 생각한다.



I'm Terry Sanders and I have been teaching in Japan since 1996. I have two daughters and several grandchildren back in the United States. I was born in Washington state to an American father and a Japanese mother.

So many cultural differences between Japan and the U.S. have disappeared over the past several years. We have to be careful not to fall into old stereotypes that don't really exist anymore.

関村先生には中国留学時および滞在した都市での体験談、川喜田先生には国際援助の経験からの文化の違いについて投稿をお願いしました。



講師

関村 咲江

中国語通訳案内士
千葉県生まれ、千葉県育ち。趣味は読書と中国茶を楽しむこと。大学院では中国文学を専攻していました。古典作品から現代小説、そしてサブカルチャーまで中国文化の面白さに今も魅了され続けています。

私は中国福建省・廈門（廈門大学）と台湾・台北（台湾大学）に留学した経験があります。大陸と台湾に留学したことで、大陸の文化と台湾の文化の違いを知ることができ、とても有意義な経験になりました。例えば同じ言葉でも大陸と台湾では、発音や表記が異なるものがあります。ゴミを表す中国語は「垃圾」と書きますが、大陸では（la1ji1 ラージー）と読み、台湾では（le4se4 ルースゥ）と読みます。他にも、自転車は大陸では「自行车」（zi4xing2che1 ツウシンチャー）ですが、台湾では「腳踏車」（jiao3ta4che1 ジャオタァチャー）になります。このように言葉ひとつ取っても双方に違いがある大陸と台湾ですが、そのどちらにも独特な魅力があります。

講座では、このような文化的な違いや魅力もお伝えしながら、楽しく中国語と中国文化に触れていただけたらと思っています。



講師

川喜田 英博

1979年日本青年海外協力隊の建築設計隊員（外務省事業）として、アフリカ大陸ケニア共和国の建設省に2年間派遣されました。その後、国際協力機構（JICA）技術協カプロジェクトに30年間従事しました。現在、英語・韓国語の入門クラスの講師です。

私が長期海外駐在した国は、4か国です。言葉を学ぶことは文化を知ることであります。たとえば、ケニアは、アフリカ大陸の東海岸にある国で、スワヒリ語、英語を使っています。日本の長屋文化のように、近所の子供たちを皆で育てる社会性があります。あなたの物は、私の物、みんなの物的な感じます。

タイの文化は、日本と同じ仏教国という点で似ています。ただし、年長者、親、教師などへの尊敬の念が日本より強いです。また、施し（タンブン）、お寺への寄進、僧侶への贈り物（托鉢）などをする事により、徳を積むことを重視しています。

インドネシアは、イスラムの国です。毎日、数回のお祈りをおかせません。断食月があり、日々夜が明けてから夕暮れまで一切の食物、飲み物をとりません。これは、貧者の心を学ぶためと言われています。

ジンバブエは、南アフリカ共和国の北に位置し、海のない内陸国です。1990年までは、白人の統治で「アフリカのパンかご」と言われるほど小麦の生産が豊かな国でした。かつては、イギリスの連邦国家で、多くのヨーロッパ人の年金生活者が暮らしている国です。

語学教室の概要

授業料は1回900円で、1期ごと（3～4か月単位）のお支払いとなります。基本的に、月4回の12～14回です。他に協会の年会費2,000円が別途必要となります。

言語	曜日	クラス	時間	場所
英会話	月曜日	入門クラス	14:00～16:00	協会事務所
	水曜日	中級クラス	10:00～12:00	中央駅前地域交流館
	金曜日	初級クラス	10:00～12:00	中央公民館
中国語	月曜日	初級クラス	11:45～13:45	協会事務所
	金曜日	中級クラス	10:45～12:00	協会内サロン
韓国語	木曜日	初級クラス	10:30～12:30	中央公民館

日本語教室りぼん

日本語が話せない人、日本語は話せるけれど、ひらがなやカタカナが読めなくて困っている人、日本語の会話が上手になりたい人が近くにいたら、りぼんを紹介してください。りぼんの仲間とスタッフが待っています。

曜日	時間	場所	連絡先	クラスの紹介
火曜日	10:00 12:00	ふれあいセンター印旛 印西市美瀬1-25	梅田 080-3154-2821 	韓国、タイ、ベルギーの学習者4名とスタッフ3名が、ニュースや経済状況等も話題にしながら、楽しく活動しています。とても和やかな雰囲気の教室です。
水曜日	9:30 11:00 11:10 12:40	中央駅前地域交流館 印西市中央南1-2	早川 0476-36-7836 岡部 080-5521-7064 	中央駅前地域交流館で、コロナ対策のため2部制で学習しています。スタッフは11名で、14グループ。学習者33名の大半は主婦で、出身は中国をはじめとして世界10ヶ国に渡ります。
木曜日	10:00 12:00	中央公民館 印西市大森3934-1	川喜田 090-6492-0865 治田 090-2548-3317 	木曜クラスは、初級、中級、中上級の3グループです。学習者の国は、中国、スリランカ、ネパール、韓国、フィリピン、ベトナム、ブラジルの合計で13名が楽しく学んでいます。
土曜日	10:00 12:00	そうふけ公民館 印西市原3-4	治田 090-2548-3317 	中国、台湾、ブラジル、韓国、ガーナ等、14名の学習者が6名のスタッフと共に、入門から中上級レベルに分かれて勉強しています。小学生も参加しています。
土曜日 夜	18:00 19:30	そうふけ公民館 印西市原3-4	治田 090-2548-3317 	学習者は中国、スリランカ、フィリピン、パキスタンの方々に総勢18名、スタッフ4名で活動しています。昼間働いているビジネスマンが多いです。
日曜日	10:00 12:00	中央公民館 印西市大森3934-1	河原 080-9524-1944 治田 090-2548-3317 	日曜日クラスでは4名のスタッフの下、中国、韓国、フィリピン、ベトナム、スリランカ出身の子供から主婦まで幅広い方々が楽しく学習しています。

にはんご学習者より



◆ 日本に暮らして ◆

齋藤ミカ(フィリピン)

私はフィリピン・セブ出身のミカと申します。私は約10年前に日本にやってきました。最初は東京に住んでいましたが、子どもたちが成長するにつれて、少し静かな場所に移りたいと思い、いまは印西に住んでいます。言語や文化の違いから、いろんな経験をしました。私は、学校からの手紙やメールなど、すべてのことに夫に頼らざるを得ませんでした。

しかし、RIBBONに参加するようになってから、私の生活はとても楽になりました。日曜日のクラスに参加し始めてから5年が経ち、最近、子どもたちが小学校に入ったので、水曜日と木曜日の会話クラスやN3クラスなど、他のクラスにも参加する時間ができました。

私には4人の先生がいますが、それぞれがユニークで素晴らしい先生です。また、IIFAは最低限の参加費用で、年に数回、様々なイベントを開催しています。

このような日本人たちの行動により、私は大切にされ、受け入れられたと感じました。



◆ 私の家 ◆

溝口綾佳(シンガポール)

2020年の夏、2匹の愛犬と共にシンガポールから日本へ来ました。

愛犬たちのために、印西市にペット可のマションを購入しました。マンション近くの歩道はシンガポールみたいで広く、明るいです。それに、マンションから徒歩5分圏内にはイオンモールやスーパーや医療機関などがあります。駅は徒歩1分で、すごく便利です。

毎年11月から3月にかけて、ベランダから駅前のイルミネーションが見えますので、とても綺麗です。さらに、ベランダから遮るものがない景色は壮観で、季節によって変化します。

地域交流館は徒歩5分で、毎週水曜日はリボン日本語の教室で日本語を勉強しています。昨年、優しい鈴木先生のおかげでN3に合格しました。次はN2に挑戦します。

私にとって、印西市は自然が多く住みやすい、都会的な田舎です。今まで色々な所に住んできましたが、この家が1番好きです。愛犬たちもそう思います・・・。



◆ 日本の今までの生活 ◆

アカシ・マムード・サミル・ハーン(パキスタン)

私はサミル、パキスタン人で、20歳です。日本人はとてもやさしいです。日本語の先生もとてもやさしくて、いい人です。

日本に来たときは、日本語はぜんぜんできませんでした。叔父さんが日本語教室を教えてくださいました。日本語ができないと日本で生活するのは大変です。先生から日本語を教えてもらい、自分でも一生懸命勉強しました。日本語が少しできるようになってアルバイトも紹介してもらいました。

私の趣味はクリケットをすることです。パキスタンにいたときは選手でした。今でも自分の楽しみのためにクリケットをやっています。自分で電車に乗って、クリケットの友達のところにも行けるようになりました。試合にも出ます。

いままでやったこと、全部先生のおかげでできるようになりました。今は車の部品の輸出の仕事をやっています。日本語が出来ることはやっぱり大事なことです。これからも頑張ります。

今まで本当にありがとうございました。



◆ 印西市での生活 ◆

王楠(中国)

私は七年前に長男が小学校入学する前に、印西市に引っ越してきました。

印西市は本当に子育てに1番良い場所です。街が広くて、緑が多いです。

家の近くに北総花の丘公園があります。一年中様々なお花が咲いています。

特に春になると、たくさんの桜が咲いて、夢のような綺麗な風景です。そこの池の中にたくさん大きな鯉がいます。

休日にはいつも子どもたちを連れて、鯉を見に行きます。

目の前に大自然溢れる素晴らしい都市で家族と平和に毎日過ごしてきて、それが一番幸せな事だと感じました。

Facebookからでも
ご覧いただけます。



タイの自治体との国際交流を進めるプロジェクトへの参画

印西市国際交流協会は、JICAパートナーシッププログラムに基づく下記プロジェクトの運営に協力します。

名称：タイ国の「自治体ネットワーク」によるコミュニティベース統合型高齢者ケアの普及モデル構築と人材循環プロジェクト（略称：自治体ネットワークによるコミュニティベース統合型高齢者ケアプロジェクト）」

運営機関：神奈川県湯河原町

運営協力機関：NGO野毛坂グローバル

タイ側実施機関：パトムタニ県ブンイトー市他タイの自治体（当初9自治体）

タイ側協力機関：タマサート大学社会福祉学部、チュラロンコン大学政治学部

本プロジェクトは、タイと日本の自治体が視察、交流、研修等による学びあいを通し、地域が支える高齢者ケアの統合型普及モデルを共有することを目的として令和4年8月に3年を期間として開始された。一例として、すでにタイのブンイトー市では、日本で学んだ認知症カフェが普及し始めている。当協会は、高齢者ケアに関する勉強会の実施と、印西市でタイの自治体による研修の受け入れが可能となるための準備を進めます。

日本とタイとの学びあい



地域コミュニティによる支えあい
(高齢者ケア、子どもの支援、...)

公的支援が充実した日本では、その限界に気づき、コミュニティによる支えあいも重要視されている

コミュニティによる支えあいに頼るタイでは、その限界に気づき公的支援も重要視されている

ขอเชิญเข้าร่วม
อบรมออนไลน์
In-Kita
In-Kita
Care Management System
Training
Online
Japan
Training
วันที่ 6 ตุลาคม 2563 เวลา 09:00 - 15:00 น.



Health Center



School Health Check-up



Health Center



School Health Check-up

©野毛坂グローバル



Lunch service by community



Lunch service by community



Disaster Prevention drill



Disaster Prevention drill



新講座のご案内



講師 小寺智香子（陳 潔琳）

出身 中国江蘇省
日本在住 18年
江蘇省師範大学卒、
京都情報大学院大学卒

汉语 4/14 開講 金曜日 10:00~12:00

私が目指す中国語講座

- ・好きなように話せる中国語
- ・場面別のレッスン
- ・中国語の本や体験型ドラマなどを
通訳がなくても楽しめる



場所 印西市国際交流協会内サロン